

大学院医学研究科 博士課程 医学専攻

専攻主科目名

腎臓病学

※ちば総合医療センター

◆問合わせ連絡先 担当：第三内科学講座 腎研究室

E-mail terawaki@med.teikyo-u.ac.jp

TEL 0436-62-1211 (内線:2010)

HP(研究室・診療科) <https://www.teikyochiba-nephrology.com/>



◆研究室・講座・医局等の紹介

1. 当講座の沿革(敬称略)



帝京大学ちば総合医療センター



1990年代と思しきカンファレンス光景

帝京大学ちば総合医療センター腎臓内科の歴史は、1986年(昭和61年)に帝京大学市原病院が開院した際における、第三内科学講座の腎グループとしての開講に始まります。教授1名、助教授1名、助手2名の計4名体制で開講しました。その後、当講座は主に帝京大学出身のスタッフを数多く迎え入れ、地域医療の礎石として輩出しました。

2017年(平成29年)5月、福島県立医科大学 腎臓高血圧内科より、准教授(診療部長)であった寺脇博之が教授として着任。帝京大学附属病院からの支援スタッフ2名の着任を得て、腎臓内科は新体制を迎えました。さらに2017年(平成29年)8月には、近森病院腎臓内科より吉村和修が病院教授として着任し、和氣快斗(助手)・飯島隆太郎(助手)を含む常勤4名体制で腎生検・血液透析導入(バスキュラーアクセス造設を含む)に関する膨大な近隣からの需要に対応しました。さらに2018年(平成30年)には腹膜透析療法を本格的に開始。千葉県中南部における中心的な医療機関としての実績を順調に重ねていきました。

そして2019年(平成31年=令和元年)4月、宮本研(助教)・伊藤靖子(助手)・松本啓成(助手)・上田瞳(後期研修医)が加入し、当講座は常勤8名体制となり名実ともに千葉県全体を代表する腎臓内科教室となりました。あわせて、客員教授、特別研究員、さらにOBの先生方の非常勤医師(メンバー詳細は講座HP参照)としての支援も得ながら現在に至ります。

2. 私たちのポリシー:3つの”C”

私たちが教室運営の柱と考える、3つの”C”を紹介します。

・Curiosity(好奇心) ・Conscience(良心) ・Confidence(自信)
これらは医師としてのright stuff(正しい資質)であり、それゆえに私たちの講座における研究・教育・臨床の柱としております。



1. Curiosityの刺激に配慮した研究

積極的な学会発表・論文作成に関するモチベーションの維持・向上のため、curiosity(好奇心)の刺激に配慮した展開を志向します。具体的には、(1)他分野・他施設との積極的な学術的交流、(2)住民・有病者コホートの構築、(3)臨床研究の充実、などを行います。

2. Conscienceの育成に配慮した教育

“常に与えられる”画一的・網羅的な教育から個別的・示唆的な教育へのシフトを心掛け、「何を教えるか」より「いかに学ばせるか」を重要視し、誰もが少しでも背伸びした、そして自発的な目標を持てるような教育の在り方を心がけています。

3. Confidenceの育成に配慮した臨床

根拠に裏打ちされたconfidence(自信)の養成に配慮した展開を志向します。このことが当講座を、輸液管理や腎炎管理だけでなく、透析療法を含むあらゆる腎領域診療に対応する講座として維持させております。

3. 当講座のアピールポイント

1. 豊富な臨床経験

千葉県南半分における唯一の大学病院として、腎炎・CKDから血液浄化・血液透析・腹膜透析に至るまで、あらゆる腎関連項目に関する症例を経験することができます(入院患者数20~30名)。また、腎生検・内シャント造設・腹膜透析カテーテル留置・内シャント拡張術(PTA)といった、いわゆるインターベンショナルネフロロジーにも習熟することができます。

2. 専門医への最短ルート

当講座は、日本内科学会はもちろん日本腎臓学会・日本透析医学会・日本高血圧学会の教育認定施設でもありますので、総合内科専門医・腎臓専門医・透析専門医・高血圧専門医を取るための最短で十分な経験を積むことができます。

3. 医学博士号

大学院へ入学して、あるいは臨床業務を継続しながら、医学博士号(Ph.D.)を取得することができます。Ph.D.は、国内外でのアカデミアで勝負するには必須の資格であり、臨床の最前線に出ていく医師にとっても強力な社会的信用となります。



4. 学会活動の奨励

最新の標準医療を提供する上で、自らの知識を常にアップデートする手段としての学会活動はきわめて重要です。当講座では、腎臓学会・透析医学会を中心とした国内外における関連学会・研究会への積極的な参加を奨励・援助いたします。

5. 豊富なキャリア・パス

当講座の大学院生・後期研修医およびスタッフの経験後、帝京大学の学是「自分流」にしたがった、多岐にわたるキャリア・パスの選択が可能です。具体的には以下のようなキャリア・パスが選択できます。

・地域での開業：帝京ちば総合医療センターの診療圏である千葉県中南部には、当講座出身である数多くのOBの先生方がおられますので、そういった先生が責任者を務められている医療機関への就職が容易です。また新規開業に関してもスムーズな病診・病病連携が可能です。

・専門医としてのステップアップ：さらなる臨床経験を積むための、他施設における腎臓内科での「武者修行」を、積極的に支援します。

・アカデミアでのステップアップ：当講座の教員（助教・講師・准教授）としての、帝京大学を含む大学医学部や研究機関における上級職への更なるチャレンジを支援します。

